

日本磁気科学会 第8回研究会
分離・分析分科会

磁性は全ての物質が有する性質であるので、強磁場を用いれば大小はあるものの、基本的に全ての物質に対して力学的あるいはエネルギー的な作用を与えることができます。これを利用して、物質の組織制御や物質分離、分析化学的な応用が展開されています。日本磁気科学会 分離・分析分科会では、日本磁気学会 強磁場応用専門研究会及び低温工学協会 磁場を用いた物質挙動制御技術に関する調査研究会と共催で、強磁場を用いた分離・分析・医療応用をテーマに、このフィールドでご活躍の先生方にご講演いただくことにしました。できるだけじっくりと議論するため、講演時間を長くとしています。なかなか得られない機会ですので、是非、ご参加いただきますようお願いいたします。

日時: 2010年8月2日(月) 13:00~18:00

場所: 大阪大学大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 A1棟 5階 セミナー室
(吹田市山田丘 2-1) <http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/campusmap.html>

プログラム

- 13:00-13:05 開会挨拶
- 13:05-14:40 磁場を利用する新しいマイクロ分析法の開発 渡會 仁 (阪大)
- 14:40-16:15 磁性ナノ粒子のバイオ医療分野での活用 前之園信也 (北陸先端大)
- 16:15-16:25 休憩
- 16:25-18:00 交流磁場による局所加熱 ~磁気ハイパーサーミアの実現に向けて~ 中川 貴 (阪大)

会費: 無料

連絡先:

西嶋茂宏 nishijima@see.eng.osaka-u.ac.jp